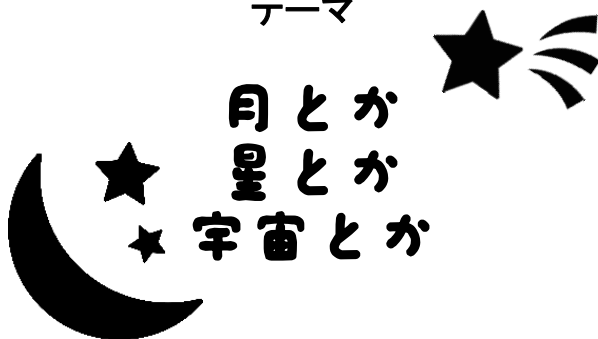


Vol.97 PUSH!

図書館員が選んだ
中高生向けのおすすめ本

テーマ



月の満ちかけを ながめよう

森雅之／イラスト 相馬充／監修
誠文堂新光社 (B44ツキノ)

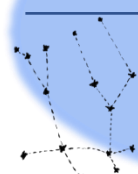
地球にもっとも近い天体、月。
41万キロ(地球30個分)離れている
この天体のこと、どれだけ知っていますか？
月の満ち欠けや、表面のクレーター、海のこと、
月が光り輝く理由などをかわいいイラストで紹介しています。
試してほしいのが、5円玉を持って腕を伸ばすと、
月は5円玉の穴にちょうど収まる、という実験。
その理由は54ページの解説で。

すごい 夜空の 見つけかた

最近夜空、見上げてますか？
毎日見ているはずなのに、見逃してしまいがちな夜空の表情。
天体写真家で夜空の専門家、林完次が夜空を「夕暮れ」「月夜」「星空」の3つに分けて紹介しています。
美しい写真と詳しい解説をお供に『すごい夜空』を見てみよう！

林完次／写真・文 草思社 (748ハヤシ)

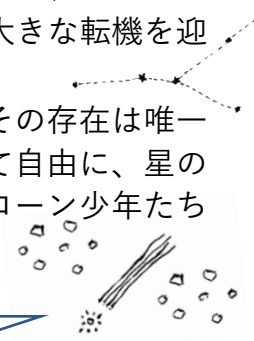
ナニュークたちの星座



雪舟えま／文 カシワイ／絵
アリス館 (Y913ユキフ)

ある星で、特殊な石を採掘するために生み出されるクローン『ナニューク』その中の1人が行方不明になったことをきっかけに、ナニューク37922号の人生は大きな転機を迎える。

外見は同じでも、その存在は唯一無二。魂はいつだって自由に、星のように光り輝く。クローン少年たちの優しい物語。



天空の地図

人類は頭上の世界をどう描いてきたのか



アン・ルーニー／著(440ルニア)
日経ナショナルジオグラフィック社

望遠鏡も探査機もない時代、天空は神話の世界だった！ 天動説 vs 地動説、月の地図、さまよえる惑星…観測技術の発達によって鮮明になっていく宇宙の姿を、色鮮やかな地図から読み解きます。

手の届かない空を見つめ、夢見た研究者たちのロマン
あふれる宇宙を感じよう！



ラダツクの星

中村安希／著
潮出版社

突然、友人を亡くした著者は、逃げるように険しい山々へ向かいます。
行き先は秘境ラダツク。「峠の向こう」を意味する、インドで最も高い山岳地帯です。
目的は、最高の星空に出会うため。星を追い続けた先に、彼女が見た景色とは！
25日間の旅の軌跡をつづります。

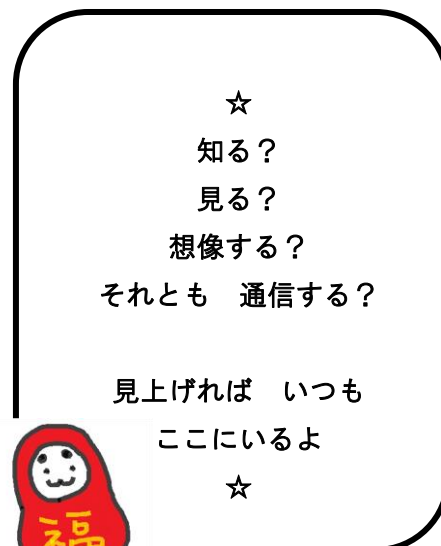


宇宙に住みたい 宇宙たんで話

竹内薫／著
キノブックス
(538タケウ)



宇宙で暮らすのは
不可能じゃない？
★月：細かいホコリ対策が必須
★金星：地上の気温が熱すぎる(500℃)！空に浮かぶ空中都市がおすすめ
★土星の衛星タイタン：潜水艦で地下にある水中世界に住むのが快適♪
「生活する」視点で知る太陽系の星たちは、もっと面白い！



令和元年 9月
編集発行 福島市立図書館 YA部会
TEL 531-6551